

|        |              |      |  |    |  |
|--------|--------------|------|--|----|--|
| 校種・教科等 | 小中学校<br>栄養教諭 | 受審番号 |  | 氏名 |  |
|--------|--------------|------|--|----|--|

小学校 『家庭科』 模擬授業課題

A

- (1) 日 時 令和5年〇月〇日 第〇校時(45分)  
 (2) 場 所 6年教室  
 (3) 学年・学級 第6学年(30名) 使用教科書 わたしたちの家庭科(開隆堂)P112~115

(4) 題 材 名 7 こんだてを工夫して

(5) 指導する児童の状況

【既習事項】

- ・第5学年「食べて元気に」において、五大栄養素の働きや3つの食品グループとその働き、日本の伝統的な食事であるご飯とみそ汁の特徴と作り方について学習している。第6学年の1学期には、「できることを増やしてクッキング」において、材料に適したいため方、おいしく食べるための調理の仕方、朝食を食べることの大切さや食品を組み合わせるとることの必要性について学習している。

【題材のねらい】

- ・献立を構成する要素が分かり、1食分の献立について栄養バランスを考え工夫することができる。
- ・おいしく楽しく食べるために日常の食事の仕方を考え、課題を解決する力を身に着ける。
- ・学習したことを生かして、食生活をよりよくしようと栄養を考えた食事について工夫する実践的な態度を育てる。

【児童の状況】

- ・朝食の摂取状況では、全ての児童が朝食を食べているが、主食・主菜・副菜がそろった朝食を食べている児童の割合はクラスの約4割で、主食だけといった児童が多く見られる。
- ・給食では、野菜を使った副菜が苦手な児童が比較的多い。
- ・クラスの雰囲気は、活発に発言できる児童がいるが、全体の前では自主的に意見を発表できない児童もいる。ペアやグループなどの小集団活動では、比較的意見が出やすい。

(6) 指導計画(全8時間)

| 次(時数)        | 学習内容   | 活動・指導形態          | 評価計画                          |
|--------------|--|------------------|-------------------------------|
| 第一次<br>(2時間) | <b>1 食品や料理を組み合わせ、1食分のこんだてを立てよう</b><br>・ご飯とみそ汁を中心とした栄養バランスのとれた1食分のこんだてを考える。(1時間:本時)教科書 P112~113 | 一斉<br>ペア・グループ・個人 | 知識・技能                         |
|              | ・1食分のこんだての栄養バランスを確かめながら、おかずや食品の組み合わせを工夫することができる。(1時間)教科書 P114~115                              | 一斉<br>ペア・グループ・個人 | 思考・判断・表現                      |
| 第二次<br>(5時間) | <b>2 工夫して毎日の食生活に生かそう</b><br>・食材の選び方、時間配分や手順、環境に配慮した工夫を考え、見通しをもった調理計画を立てる。<br>(2時間)教科書 P116     | 一斉<br>ペア・グループ・個人 | 思考・判断・表現                      |
|              | ・調理計画にもとづき、調理実習を行う。<br>(2時間)教科書 P117   |                  | 知識・技能<br>思考・判断・表現             |
|              | ・調理実習をふり返り、家庭で実践するための計画を考える。<br>(1時間)教科書 P112~117  | 一斉<br>ペア・グループ・個人 | 思考・判断・表現                      |
| 第三次<br>(1時間) | <b>3 食事の仕方を工夫しよう</b><br>・これまでの学習をふり返り、家族で楽しく食事をするために、工夫できる事をまとめる。<br>(1時間)教科書 P118             | 一斉<br>ペア・グループ・個人 | 思考・判断・表現<br>主体的に学習に<br>取り組む態度 |

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

|        |              |      |  |    |  |
|--------|--------------|------|--|----|--|
| 校種・教科等 | 小中学校<br>栄養教諭 | 受審番号 |  | 氏名 |  |
|--------|--------------|------|--|----|--|

小学校 『体育（保健分野）』 模擬授業課題

B

- (1) 日 時 令和5年〇月〇日 第〇校時(45分)  
 (2) 場 所 4年教室  
 (3) 学年・学級 第4学年(30名) 使用教科書 わたしたちのほけん(文教社)P28～31

(4) 単 元 名 体の発育・発達

(5) 指導する児童の状況

【既習事項】

- ・第3学年「毎日の生活とけんこう」において、毎日を健康に過ごすには、食事・運動・休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けること、体の清潔を保つこと、生活環境を整えることなどが必要であることについて学習をしている。

【単元のねらい】

- ・体の発育・発達については個人差はあるものの、年齢に伴って変化が起こることを理解する。
- ・体をよりよく発育・発達させるには、適切な運動、バランスのとれた食事、適切な休養及び睡眠が必要であることを理解するとともに、体の発育・発達に関わる自己の生活の仕方から課題を見つけ、解決方法を考えることができる。

【児童の状況】

- ・家庭での生活リズム、食事内容、食行動、排便リズム等には個人差がある。
- ・朝食の摂取状況では、全ての児童が朝食を食べているが、主食と野菜や魚・肉・卵等がそろったおかずを食べている児童の割合は約40%である。
- ・習い事をしている児童も多く、就寝時刻が10時以降の児童の割合は約20%である。
- ・クラスの雰囲気としては、全体の前で自主的に意見を発表できない児童が5名ほどいるが、ペアやグループなどの小集団活動では、意見を出しやすい雰囲気がある。

(6) 指導計画(全4時間)

| 次(時数)        | 学習内容  | 活動・指導形態                                  | 評価計画                                       |
|--------------|---|--|--|
| 第一次<br>(1時間) | <b>1 体の発育</b><br>・身長、体重など年齢に伴う体の変化と個人差について理解する。(1時間)教科書P18～21   | 一斉<br>ペア・グループ・個人                         | 知識・技能                                      |
| 第二次<br>(2時間) | <b>2 思春期の体の変化</b><br>・思春期には、体つきに変化が起こること、人によって違いがあるものの男女の体つきの特徴が現れることを理解し、思春期の体の変化から課題を見付ける。(1時間)教科書P22～23<br><br>・思春期には、個人差があるものの、初経、精通、変声、発毛が起こったり、異性への関心が芽生えるなど、大人の体に近づく現象が起こることを知り、体をよりよく発育・発達させるための方法を考える。(1時間)教科書P24～27 | 一斉<br>ペア・グループ・個人<br><br>一斉<br>ペア・グループ・個人 | 知識・技能<br>思考・判断・表現<br><br>知識・技能<br>思考・判断・表現 |
| 第三次<br>(1時間) | <b>3 体のよりよい発育</b><br>・体をよりよく発育・発達させるためには、運動、多くの種類の食品をとることができるようなバランスのとれた食事、適切な休養及び睡眠が必要であることを理解する。自分の生活をふり返り、課題を見つけたら、解決のために必要なことを考える。(1時間:本時)教科書P28～31   | 一斉<br>ペア・グループ・個人                         | 知識・技能<br>主体的に学習に取り組む態度                     |

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

|        |              |      |    |
|--------|--------------|------|----|
| 校種・教科等 | 小中学校<br>栄養教諭 | 受審番号 | 氏名 |
|--------|--------------|------|----|

小学校 『体育（保健分野）』 模擬授業課題

C

- (1) 日 時 令和5年〇月〇日 第〇校時(45分)  
 (2) 場 所 6年教室  
 (3) 学年・学級 第6学年(30名) 使用教科書 わたしたちの保健(文教社)P38～41

(4) 単 元 名 病気の予防

(5) 指導する児童の状況

【既習事項】

- ・第4学年「体の発育・発達」において、体がよりよく成長するために、バランスのとれた食事、適切な運動、適切な栄養・睡眠をとることの大切さについて学習している。

【単元のねらい】

- ・病気の予防には、病原体が体に入るのを防ぐこと、病原体に対する体の抵抗力を高めること及び望ましい生活習慣を身につけることが必要であることを知り、自己の課題の解決に向けて考えることができる。
- ・喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は健康を損なう原因となることや、地域において保健に関わるさまざまな活動が行われていることなどを理解する。

【児童の状況】

- ・9割の児童が毎日朝食を食べているが、主食・主菜・副菜がそろった朝食を食べている児童の割合は約30%である。
- ・習い事をしている児童が多く、就寝時刻が11時以降の児童の割合が半数程度いる。
- ・クラスの雰囲気は、活発に発言できる児童がいるが、全体の前では自主的に意見を発表できない児童もいる。ペアやグループなどの小集団活動では、比較的意見が出やすい。

(6) 指導計画(全8時間)

| 次(時数)        | 学習内容  | 活動・指導形態          | 評価計画                   |
|--------------|---|------------------|------------------------|
| 第一次<br>(1時間) | <b>1 病気の起こり方</b><br>・病気は、病原体、体の抵抗力、生活行動、環境などが関わりあって起こることを理解し、病気の起こり方に関わる事象から課題を見つける。(1時間)教科書P30～33                            | 一斉<br>ペア・グループ・個人 | 知識・技能<br>思考・判断・表現      |
| 第二次<br>(1時間) | <b>2 病原体と病気</b><br>・病原体が主な原因となって起こる病気の予防には、病原体が体に入るのを防ぐことや体の抵抗力を高めておくことが必要であることを理解し、予防の方法を考える。(1時間)教科書P34～37                  | 一斉<br>ペア・グループ・個人 | 知識・技能<br>思考・判断・表現      |
| 第三次<br>(2時間) | <b>3 生活のしかたと病気</b><br>・生活行動が主な原因となって起こる病気には、心臓や脳の血管が硬くなったり詰まったりする病気があることや、その予防には、望ましい生活習慣を身につける必要があることを理解する。(1時間:本時)教科書P38～39 | 一斉<br>ペア・グループ・個人 | 知識・技能                  |
|              | ・生活行動が主な原因となって起こる病気には、むし歯や歯ぐきの病気があることや、その予防には、望ましい生活習慣を身につける必要があることを理解し、適切な解決方法を考える。(1時間)教科書P40～41                            | 一斉<br>ペア・グループ・個人 | 知識・技能<br>思考・判断・表現      |
| 第四次<br>(1時間) | <b>4 喫煙の害</b><br>・喫煙、飲酒などの行為は、なぜ健康を損なう原因となるかについて考え、発表する。(1時間)教科書P42～47  | グループ             | 思考・判断・表現               |
| 第五次<br>(1時間) | <b>5 飲酒の害</b><br>・喫煙、飲酒などの行為は、健康を損なう原因となることについて理解する。(1時間)教科書P42～47  | 一斉<br>ペア・グループ・個人 | 知識・理解                  |
| 第六次<br>(1時間) | <b>6 薬物乱用の害</b><br>・薬物乱用は、健康を損なう原因となることについて理解する。(1時間)教科書P48～49  | 一斉<br>ペア・グループ・個人 | 知識・理解                  |
| 第七次<br>(1時間) | <b>7 地域の保健活動</b><br>・保健所や保険センターなどの取組を調べ、地域では、保健に関わる様々な活動が行われていることを理解する。(1時間)教科書P50～51   | 一斉<br>ペア・グループ・個人 | 知識・技能<br>主体的に学習に取り組む態度 |

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。